

会津高等学校における読書活動推進へ向けた取組

1. 学校の概要

①所在地

福島県会津若松市表町3-1

②学級数・生徒数

18学級・715人（令和4年5月1日現在）

③学校図書館の蔵書数

40,940冊（令和4年5月1日現在）

2. 取組内容

(1) 学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

①各種コーナーの設置

生徒の関心が高く利用の多い分野の本などは、生徒がスムーズに探せるようコーナーを設け、別置している。また、「何か面白い本はないかな…」と訪れる生徒の選書の参考となるよう、ひと月ごとにテーマを変えて特集展示を行っている。

●「小説・エッセイ等コーナー」（常設）

小説やエッセイなどは生徒からの人気が高いため、館内の入口近くに配置している。このコーナーで足を止める生徒はとても多い。

●「進路に関する本コーナー」（常設）

進路に関する資料は利用が多いため、館内の入口近くに配置している。「大学に関する本」、「小論文・面接対策本」、「勉強法に関する本」、「仕事に関する本」などをまとめて配置している。

●時事問題コーナー（常設）

小論文入試等で出題されやすい時事問題（例：SDGs、エネルギー問題）に関する図書をまとめ、「進路に関する本コーナー」の隣に配置している。内容は基本的に年度ごとに変えているが、新型コロナウイルスのような大きな出来事があった場合はその都度追加している。

●「郷土資料コーナー」（常設）

会津地方や福島県に関することについて記載のある資料をまとめて置いている。自治体広報等の行政資料も配置。探究学習の際の調べもので利用されることが多い。

●「東日本大震災関連図書コーナー」(常設)

東日本大震災に関する資料や災害に関する資料をまとめて置いている。

●「読書の記録コーナー」(常設)

→(2) 読書習慣の定着を図る取組 ①読書の記録で説明。

●テーマ展示

「小説・エッセイ等コーナー」の棚の上を利用し、ひと月ごとにテーマを変え、特集展示を行っている。テーマは「話題の事柄」や「季節に関する事柄」など、生徒が興味を持ちやすいものを設定している。展示は、図書委員の生徒と協力して行うこともある。

②図書館ギャラリーの設置

本校図書館は本校舎とは別棟の建物であり、来館するには薄暗く殺風景な渡り廊下を通過して移動する必要がある。今年度より渡り廊下にギャラリーコーナーを設置し、美術部や写真部の作品を展示することで少しでも図書館へ生徒を呼び込もうとしている。

(2) 読書習慣の定着を図る取組

<読書の記録>

本校国語科では、主に1・2年生を対象に、オリジナルテキスト『読書の記録』を使用して読書指導を行っている。生徒は決められたテーマの本を読み、『読書の記録』に要約や感想などを記入し、年9回提出する。テーマは1学年8分野(環境、情報・メディア、国際関係論・異文化理解、教育、生命・医療、福祉、科学技術、小説・エッセイ)、2学年8分野(芸術・文学、言語、政治・経済、哲学・思想、ジェンダー、現代社会、社会学、小説・エッセイ)を設定しており、生徒が幅広い分野の本に触れるようにしている。また、図書館でも国語科と連携し、各分野のおすすめ本を集め、「読書の記録コーナー」として常設している。

(3) 読書活動の質の向上へ向けた取組

①読書感想文コンクールへの参加

1・2年生は、夏季休業中の課題の一つに読書感想文の提出が課されている。国語科教諭が指導し、優秀作品は「青少年読書感想文全国コンクール(毎日新聞社・学校図書館協議会主催)」へ出品している。毎年、多数の生徒が入選を果たしている。

②ビブリオバトルへの参加

ビブリオバトル福島県大会に1名の生徒が参加し、県大会2位の成績を残した。図書館では参加生徒に対し、発表原稿へのアドバイス等のサポートを行っている。

(4) その他、読書活動推進へ向けた取組

①『学而文庫』(図書館報)、『学而の本棚』(図書館だより)の作成、配布

本や読書、そして学校図書館の活動について広報し、生徒の読書意欲や図書館の利用を向上させるため、本校では年に一度『学而文庫』(図書館報)を、1ヶ月に一度『学而の本棚』(図書館だより)を作成し、全校生徒へ配布している。『学而文庫』は生徒の興味や関心にそった内容となるよう、図書委員の生徒が中心となり表紙デザインや企画・編集を行っている。『学而の本棚』では新着図書を紹介するほか、イベント告知等を掲載している。

②探究学習支援

図書部では探究学習を推進する研究部と連携し、生徒に対して探究学習支援を行っている。具体的には、「図書館を活用した資料の調べ方」「インターネットを利用した資料の調べ方」に関する資料を作成し、Google Meet で1学年全生徒へ調査レクチャーを行っている。また、生徒の調査テーマに応じたブックリストを作成し、Google Classroom で配信することで図書館利用の促進を図った。

③ブックリストの作成

本校図書館では、大学入試(国語・小論文・総合問題)の出典となった作品を調査し「入試出典図書一覧」として毎年リスト化している。リストに掲載した図書は所蔵の有無も記載し、本校図書館で読むことができるかどうかわかる状態にしている。また、複数の大学入試で取り上げられている図書については、図書館の「進路に関する本コーナー」で展示もしている。入試以外のジャンルに関しても、必要に応じてブックリストを作成している。

④校内選書会の実施

12月に地元書店と連携し、生徒が図書館の本を選書する校内選書会を実施した。約200冊の本の中から、参加者の投票によって選出されたTOP20の本を蔵書として購入し、利用に供した。今年度で3回目を迎えるが、毎年100～150名の参加がある。

⑤その他各種イベントの実施

歴史ある会津高校図書館で所蔵している貴重な資料を展示する「学而文庫秘宝展」や、「本の福袋」等のイベントを実施し、来館者の増加を図っている。

⑥会津若松市図書館との連携

会津若松市図書館のYAコーナー展示「中高生のセレクトブック」に、図書委員会として参加した。おすすめ本を紹介するPOPを各々が作成し、現物とともに展示した結果、多くの貸出が見られた。